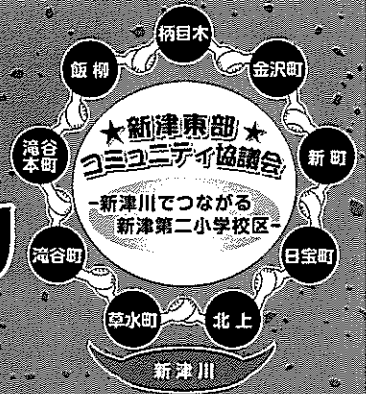


新津東部 コミュニティ協議会だより

●平成23年3月25日発行●



活力あるいきいきしたまちづくり

東部コミ協に福祉委員会が設立

新津東部地区の住民が住み慣れた地域で安心して暮らすため「地域の福祉」について連絡及び調整を図り地域の福祉課題の解決を図るため、相互に協力し合うことを目的とする「東部コミュニティ協議会・福祉委員会」が平成二十二年八月一日に設置された。

活動実施のため平成二十二年度は四回の会議開催と、研修会を行なった。



▲福祉委員会代表者会議の様子

また十月十七日に福祉委員会発足記念イベントとして「ふれあいウォーク」を実施一〇〇名の参加があった。

福祉委員会の組織は東部地区町内から

選出された福祉委員十五人東部コミ協福祉健康部員二十一人で活動をしている。

活動内容として、①住民の生活・福祉課題や困りごと相談対応（見守り・声掛け）②地域の民生委員・児童委員や専門機関への連絡③ふれあいいきいきサロン・地域間交流イベントなど、地域の福祉活動への参加・協力を決めた。



▲観光バス3台に分乗・到着後現地まで山登りでした。
一田上町 遊遊ランドにて実施

東部コミ協の活動報告

文化教養部

東部コミ協と二小六年生 地域課題を学ぶ

六年生は、東部コミ協、柄目木氏子総代、ボランティアサークルなど、地域で活動している方から地域の課題や、子どもたちへのメッセージのお話を聞く取り組みを行いました。

そして、ゲストティーチャーの話を受け、地域のために自分を分け、地域のために今の自分たちができる活動は何かを真剣に考え活動目標をまとめました。

○子供から大人まで楽しむ行事をしてコミュニケーションをはかりたい

○地域が明るくなるような行事を考え提案をしたい。

○小さい子と遊びたい。



十一月八日に体育館を会場に自分たちの活動目標に向かって、手づくりのさまざまなゲーム、たべもの、ふれあいなどコーナーをつくり、子ども、地域の方々と楽しい実践活動ができました。

当日は、「笑顔で接客ができたし、コミュニケーションがうまくとれた。」「ありがとう」などうれしい言葉をたくさんもらった、と話をしています。

この活動を通して、地域や自分を取り巻く人たちのために活動する喜びや達成感を味わうことができたと思感を述べていました。

わくわく講座を開催

子どもたちの健やかな成長を育んでいこう

夏休みに子どもたちが自由に参加できる「わくわく講座」を開催しました。

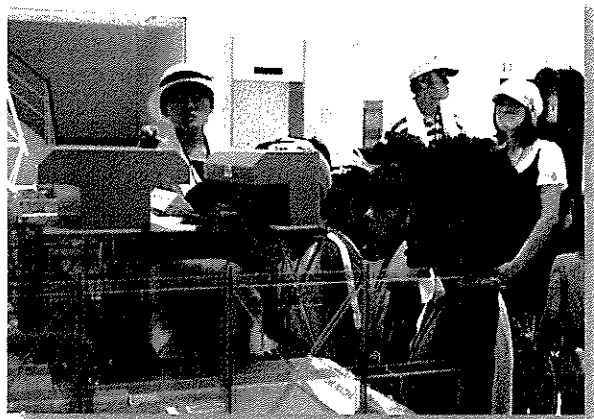
今回は、校舎の耐震補強工事のため学校は使えず、幼稚園、図書館、勤労青少年ホームなどの施設を借りて行いました。

マジック、歌、折り紙、朝ごはんの講習会や、聖籠町にある東北電力火力発電所の見学など七回の講座を開きました。

子ども、地域の方々三百二十五名の参加者がありました。

普段できない体験と、特技を持った地域の講師、団体の方々と楽しい交流ができました。

「子供たちが喜ぶ顔を見るのが楽しみです。」とボランティアとして協力をいただいたみなさんから話を聞くことができました。



おはよう朝ごはん

料理講習会



手を切らないように注意して!!

東部コミ協「福祉健康部」では、八月二十二日(日)新津勤労青少年ホームで大人二十二名、子供十四名参加により、平成二十二年度おはよう朝ごはん料理講習会を実施した。

食生活改善推進委員さんによる、朝ご飯は一日を元気に過すために大切な食事等の話しに朝食の大切さについて学び、その後親子・地域福祉委員が班に分かれ、調理作りに挑戦となった。

子供も、三角巾、エプロン姿で、作業を分担し、相談しながら、親子一緒での調理作業も、時には、わが子より鋭い注意に反省する親もあり、慣れない包丁・フライパンを使つての料理は苦戦をした班も見られたが、全体が、和気あいあいの講習会となった。

試食は、自らの手での調理した料理に、美味しーとの参加者の多くの感想の声があがっていた。



出来ました～

第二回東部地区文化展開催



十月十日、新津第二小学校の文化祭に併せて第二回東部地区文化展を開催しました。

丹精をこめて育てた盆栽、時間をかけ根気よく作り上げた手芸品、著名作家の貴重な作品など四十二点の出展がありました。

地域の大勢の方々の鑑賞と出展にご協力をいただきました。

大変ありがとうございました。

鑑賞された方からは、「もっと作品が欲しいね」との声もありました。



優勝 本望 勝男さん(北上3丁目) 第一回囲碁大会開催される

十二月五日、新津地域学園を会場に第一回囲碁大会を開催しました。

五段の有段者をはじめとして十六名の腕自慢の方々が優勝カップをかけて真剣勝負が行なわれました。

次回は、もっと多くの参加者を得て楽しい大会になるように努めていきたいと思っております。



地域内話題の紹介

まちに元気を、 新町商店主さんが熱演

「超高齢化社会」「無縁社会」と言われる現代、人が交わり、細やかな心配りができる町内にと新町地区の商店主さんが、芝居に挑戦した。演ずる役者、背景の絵、衣装は店主さん達の手作り。出し物は、小林雅さんの台本で、地元の話題をふんだんに取り込んだ、新町商店街を水戸黄門ご一行が訪れたという粗筋。素人演劇とは思えない、息の合った掛け合いにあの店のおやじさん、おばさんの役者に、観客から、「おひねり」が飛ぶほど。熱演に、町内会館を埋め尽くした観衆から絶え間ない笑い声と拍手がわきおこった。



ジャガーズとイーグルスが合併！ 地域で応援しましょう。

新津二小野球クラブ 父母会会長 伊庭敏夫



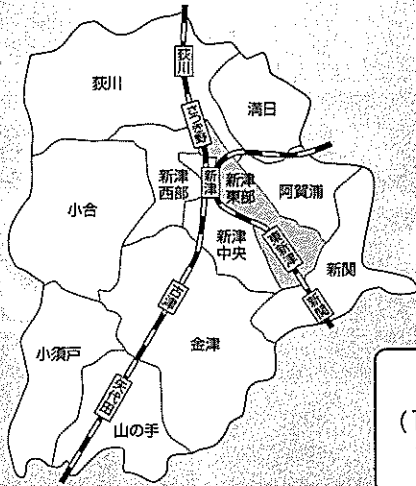
私の子供の頃は各町内にあつた少年野球チームも近年の少子化などにより、ここ数年は二小区域で「ジャガーズ」と「二小イーグルス」の二チームのみとなつておりました。それでも部員の確保が難しく六年生が一人もない年も有る程で、チームの運営にも支障となる為に昨年の夏頃より両チームで合併準備委員会を立ち上げました。競技を重ね今年一月一日付で新チーム「新津二小野球クラブ」を発足する事ができました。現在、部員数三十二名で昨年の秋季大会終了後より一緒に練習しております。少しづつですがまとまって来ました。今年、チームの初年度で有り部員ならびに監督、父兄コーチみんなで力を合わせて上の大会を目指して頑張つて行きたいと思えます。野球に興味の有るお子様がいらしたら二小に在学の有無は関係無く、いつでもご連絡下さい。新チームと一緒に野球を楽しみましょう。



新津東部地区

地区の特色

- ◇新津川が近くにあり、自然環境が良い
- ◇自然と気軽に声を掛け合う地区



総人口
10,493人

世帯数
3,696世帯

自治会数
15

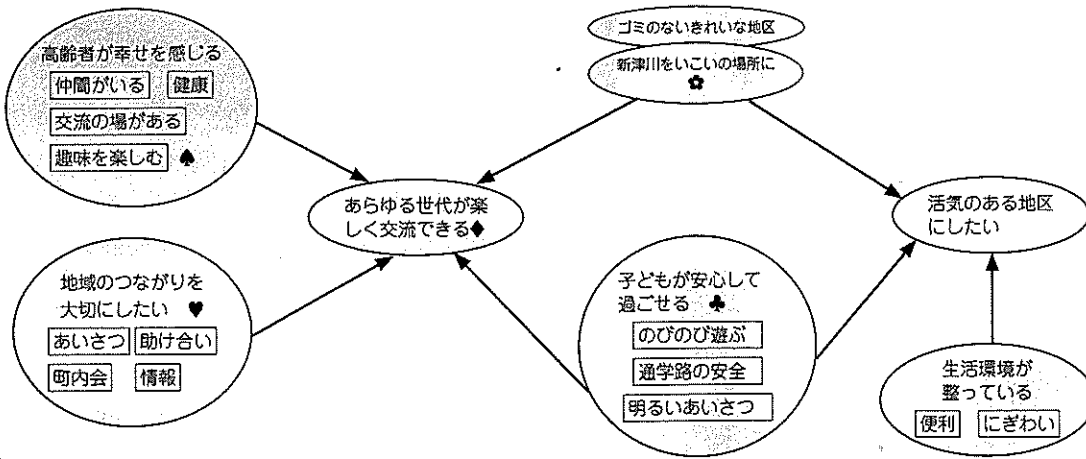
年少人口
(14才以下)
1,213人

高齢者人口
65才以上 2,870人
(内 75才以上 1,446人)

高齢化率
27.4%

福祉健康部

こんな地区になりたい ☆自然豊かな楽しい東部をつくらう



活動内容紹介

地域ではこんな福祉活動を行っています

【コミュニティ協議会】

- ボランティアのつどい
- 健康のつどい
- 盆踊り大会
- 地域ふれあい世代交流
- 親子朝ごはん料理教室
- 新津川ウォーキング
- 水辺の音楽会
- CSG・ひまわりパトロール
- 自主防災会組織化

【いきいきサロン・茶の間】

- 新町長寿ダンゴ会
- 日宝町元気クラブ
- なつめろ会
- さはやか会
- サロン柄目木
- 飯柳にこにこ健康クラブ

【子育てサロン】

- 草水町うぐいす学級
- 北上わんぱくキッズ

設置期間は来年5月31日

住宅用火災警報器を設置しましょう

火災が一番多く発生しているのが一般住宅です。皆さんの命と財産を守るために住宅用火災警報器を設置しましょう。ホームセンターや家電販売店などで購入でき、ドライバー1本で簡単に取り付けられます。消防署でも取り付けのサポートを行っていますので、お問い合わせください。

■住宅用火災警報器とは

火災により発生する煙を感知し、音声や警報で火災の発生をいち早く居住者に知らせるものです。

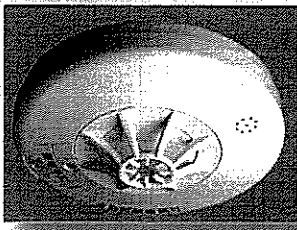
■設置の義務化

火災の発生を早めを知ることができ、多くの方が少しでも早く逃げて助かるように、設置が義務付けられました。

■設置場所

寝室(寝室が2階以上の場合は階段にも設置。詳しい設置場所についてはお問い合わせください)

ドライバー1本で、皆さんの命とこれまでの思い出、未来を守ることができます!



住宅用火災報知器



新潟市消防局キャラクター「消太くん」

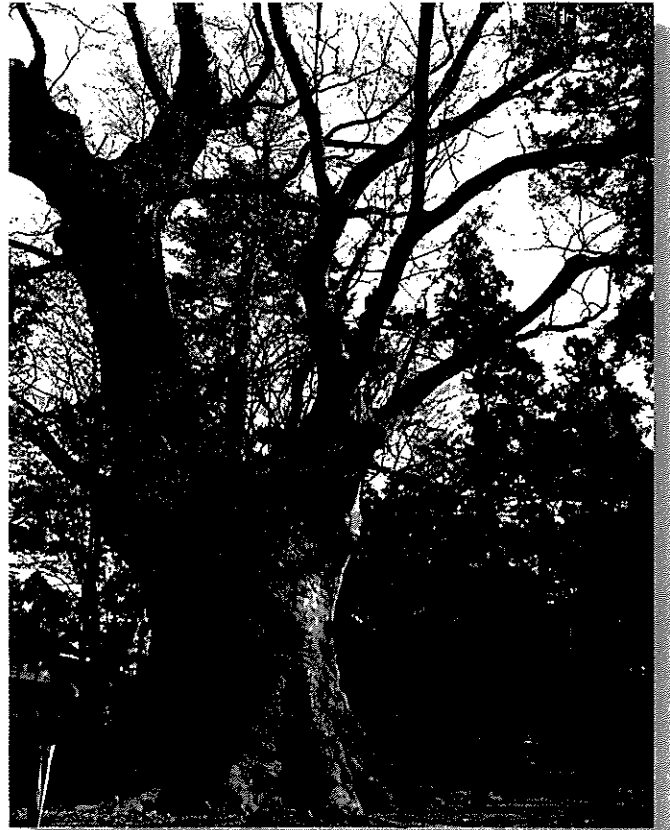
新津東部コミュニティ協議会だより

-平成23年3月25日号-

- 発行者：新津東部コミュニティ協議会
- 発行人：佐々木富夫
- 事務所：新潟市秋葉区東町1丁目5-12
新津地区勤労青少年ホーム内
- 編集：総務部 0250-22-6629(鬼島)
- 印刷：(有)新津プリント社

地域内のお宝紹介

柄目木真柄家のケヤキ



新津の石油産業の創設者である柄目木真柄家の屋敷入口にある、幹周り7.8メートル高さ16メートル、樹齢800年以上という天を覆うような見事な巨木。

編集後記

平成十九年三月十一日東部コミュニティ協議会が設立され四年がたちました。「石の上にも三年」と言う諺があります。東部コミ協も一つ一つ課題を克服しながら、東部地域内十五町内の人たちが共同して快適な住みよい社会作りに、活動しています。この度「地域の福祉」を目的とした、福祉委員会が秋葉区でトップに設立されました。活力ある生き生きとした、まちづくりに期待しましょう。